

事務連絡
令和2年8月20日

各都道府県教育委員会情報教育担当課
各指定都市教育委員会情報教育担当課
各都道府県私立学校事務主管課
附属学校を置く各国立大学法人附属
学校事務主管課 御中
附属学校を置く各公立大学法人附属
学校事務主管課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体株式会社立学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課

小学校プログラミング教育の円滑な実施のための取組について（周知）

平素より、教育の情報化の推進に御理解・御協力いただきありがとうございます。

さて、令和2年度より必修化された小学校プログラミング教育については、既に文部科学省及び未来の学びコンソーシアムにおいて、下記のとおり令和2年度からの円滑な実施に向けた準備に際して活用いただける教材等を公表し、周知しているところです。

この度、未来の学びコンソーシアムにおいて、新型コロナウイルス感染症に対応し多くの学校で臨時休業や分散登校等を実施したことを踏まえ、学校の実態等に合わせた学習活動が円滑に実施できるよう支援するために、家庭学習を含む自宅等でも、プログラミングの基本的な操作等の学習に取り組みやすいコンテンツを下記のとおり公表しました。

これらを活用し、小学校プログラミング教育の円滑な実施に向けた取組を促進いただきますようお願いいたします。

なお、小学校におけるプログラミング教育の実施については、これらを活用しなければならぬということではなく、各設置者や学校等において、計画的かつ適切に実施いただくものであることを念のため申し添えます。

また、未来の学びコンソーシアムでは、各学校においてプログラミング教育が実施されていることを踏まえ、各学校における実施の様子を下記のとおり募集します。

このことについては、都道府県教育委員会においては、域内の市町村教育委員会及び所管の小学校等に対し、指定都市教育委員会においては、所管の小学校等に対し、都道府県私立学校事務主管課においては、所轄の私立小学校等に対し、附属学校を置く国公立大学法人においては、所管の附属小学校等に対し、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の株式会社立学校事務主管課においては、所管の学校設置会社の設置する小学校に対し、十分周知するようお願いいたします。

記

1. これまでの文部科学省及び未来の学びコンソーシアムの取組

令和2年度からの円滑な実施に向けた準備に際して活用いただける教材等を公表し、周知しています。

詳細は別紙1を御覧ください。

2. 児童が自宅等でプログラミングの基本的な操作等を学習することのできるコンテンツ

令和2年度から小学校において必修化したプログラミング教育について、新型コロナウイルス感染症に対応し多くの学校で臨時休業や分散登校等を実施したことを踏まえ、学校の実態等に合わせた学習活動が円滑に実施できるよう支援するために、家庭学習を含む自宅等でも、プログラミングの基本的な操作等の学習に取り組みやすいコンテンツを作成しました。

民間企業における子供向けプログラミングコンテンツとともに「小学校を中心としたプログラミング教育ポータル」にて公表しています。

<https://miraino-manabi.jp/content/492>

詳細は別紙2を御覧ください。

3. 各学校における小学校プログラミング教育の実施レポートの募集

小学校プログラミング教育が必修化され、各学校においてプログラミング教育が実施されていることを踏まえ、今後の各学校の取組の充実と向上に資することを目的に、各

学校における実施の様子を募集します。

レポートの提供に御協力いただける教育委員会又は学校は、別紙（３－１）をご一読の上、直接未来の学びコンソーシアム事務局まで送付ください。

送付いただいた実施レポートは「小学校を中心としたプログラミング教育ポータル」にて掲載する予定です。

詳細は別紙（３－１）、（３－２）を御覧ください。

<添付資料>

（別紙１）小学校プログラミング教育に関する文部科学省及び未来の学びコンソーシアムの取組

（別紙２）児童が自宅等でプログラミングの基本的な操作等を学習することのできるコンテンツ

（別紙３－１）小学校プログラミング教育の実施レポート記入方法等

（別紙３－２）小学校プログラミング教育の実施レポート様式

<本件担当>

●**小学校プログラミング教育全般について**

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課
情報教育振興室情報教育推進係

担当：窪田、大村

TEL：03-5253-4111（内線 2090）

FAX：03-6734-3712

E-mail：jogai@mext.go.jp

●**各学校における小学校プログラミング教育の実施レポートの募集について**

未来の学びコンソーシアム プロジェクト推進チーム

担当：中台

TEL：03-5253-4111（内線 3147）

FAX：03-6734-3712

E-mail：miraino-manabi@mext.go.jp

小学校プログラミング教育に関する文部科学省及び未来の学びコンソーシアムの取組

新小学校学習指導要領において、プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施することを明記 **(小学校プログラミング教育必修化)**

文部科学省、未来の学びコンソーシアムの主な取組

○「小学校プログラミング教育の手引」

小学校プログラミング教育の円滑な実施に向け基本的な考え方などを分かりやすく解説

☞ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1403162.htm

○「小学校を中心としたプログラミング教育ポータル」

官民協働の「未来の学びコンソーシアム」において、「小学校を中心としたプログラミング教育ポータル」を立ち上げ、実践する際に参考となる情報を提供

☞ <https://miraino-manabi.jp/>

○小学校プログラミング教育に関する研修教材

小学校プログラミング教育に関する教師個人の自習・研究や校内研修等に活用できる研修教材（映像教材・テキスト教材）等を作成

☞ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1375607.htm

○みらプロ

企業と連携し、「プログラミングが社会でどう活用されているか」に焦点を当てた総合的な学習の時間における指導案を提供

☞ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1413655.htm

学年	小学校5年生
教科 (授業内容)	算数 (正多角形①)
情報提供者	杉郊区立西田小学校
学習活動の種類	A. 学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの
教材タイプ	デジタルプログラミング
使用教材	Scratch 2 (オンライン版をインストール)
コスト・環境	学校所有のパソコン 1人1台利用
都道府県	東京都

Scratch is a project of the Scratch Foundation, in collaboration with the Lifelong Kindergarten Group at the MIT Media Lab. It is available for free at <https://scratch.mit.edu>

児童が自宅等でプログラミングの基本的な操作等を学習することのできるコンテンツについて

- ✓ 新型コロナウイルス感染症に対応し多くの学校で臨時休業や分散登校等を実施していることを踏まえ、学校の実態等に合わせた学習活動が円滑に実施できるよう支援する必要がある

小学校を中心とした プログラミング教育ポータル

Powered by 未来の学びコンソーシアム
2020年からの必修化に向けて

◆児童が自宅等でプログラミングの基本的な操作等を学習できるコンテンツ（未来の学びコンソーシアム作成）

（小学校学習指導要領（平成29年告示）の学年別漢字配当表の第1学年から第4学年に配当されている漢字を使用。）

お家で学ぶはじめてのプログラミング「Scratchのはじめ方」

Scratchを使って、初めてでもプログラミングができるよう

- ・「ねこを動かしてニャーと言う」プログラム
 - ・「アルファベットを動かしたり、色を変えたり、音を鳴らしたりする」プログラム
- について説明。

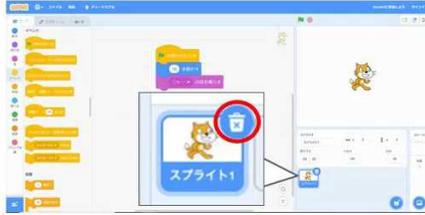
Scratchで、ねこから逃げるプログラムを作ってみよう

ねずみを動かして、ねこからにげるプログラムについて

- ・プログラムを作る際に参考となる動画やワークシート
- ・作ったプログラムを振り返ったり、工夫したりするためのワークシート
- ・発展的なプログラムの例

を示し説明。

8-1. アルファベットの追加



ネコは使わないので、消しましょう
ネコを選んで、ゴミ箱マークをクリックしてください

ネコが消えました。文字を動かすには、
まず何をすればよいですか？

まずプログラミングで動かしたい文字を選びます。
プログラミングで動かしたいものをスプライトと言います。
右下の （スプライトの追加マーク）をおきましょう。いろいろな絵が出てきます。

ねずみの動きに注目してみよう



ねずみの動きをしらべてみよう！

緑の旗をおしたら	→	
ねこにつかまったら	→	
家についたら (成功したら)	→	
	→	

◆企業等が提供する子供向けの無料コンテンツ

- ・本ポータルサイトに掲載の実施事例において活用されている教材に関連したコンテンツを紹介

小学校プログラミング教育実施レポート

記入方法等

本レポートの提供に御協力いただける教育委員会又は学校においては、以下をご一読の上、直接下記送付先に御提出ください。

【記入方法】

「小学校プログラミング教育実施レポート」(Word) 全ての項目をご記入下さい。

【送付先】

下記のメールアドレスまで御送付ください。

送付先：miraino-manabi@mext.go.jp

【留意事項】

送付いただいたレポートは未来の学びコンソーシアム事務局にて確認の上、「小学校を中心としたプログラミング教育ポータル」にて掲載することを目的に使用・公開します。

そのため、レポート内の記載及び写真は小学校を中心としたプログラミング教育ポータルにて掲載することを承諾した上で送付ください。

なお、「小学校を中心としたプログラミング教育ポータル」に掲載のコンテンツにおける著作権の取扱は<https://miraino-manabi.jp/content/270>に詳しく記載しています。

御不明な点ありましたら以下連絡先までお問合せください。

未来の学びコンソーシアム プロジェクト推進チーム

電話 : 03-5253-4111 (内線 3147)

F A X : 03-6734-3712

メール：miraino-manabi@mext.go.jp

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	
学年	記載例：小学校第○学年
目標	
教材タイプ	記載例：テキスト言語・ビジュアル言語・タンジブル
使用教材	
環境	記載例：児童○人で○台の端末を使用
都道府県	
実施校	
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>(記載に当たって)</p> <p>※記載は様式に収まる程度の分量でご記載ください。</p> <p>※掲載を希望される写真などありましたら、様式内に貼り付けてください。</p> <p>※学習活動の様子を中心に記載し、教材・企業等の紹介に偏らないようご注意ください。</p>
成果と課題	

(以下情報は未来の学びコンソーシアム事務局内で使用するものです。HPに掲載することはありません。)

情報提供者所属先	
担当者氏名・連絡先	